

池上秀畝

生誕160年

田春草

4点

12点

コレクションに見る

# 南信が 生んだ

10/19 sat 11/17 sun

2024年度 長野県立美術館移動展 in 伊那文

9:00-17:00 (入場は16:30まで) 休館日 | 月曜日、11月5日[火] ※ただし11月4日[月]は開館

入場料 | 一般500(400)円、大学生・75歳以上300(200)円、高校生以下又は18歳未満無料

※( )内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添い1名は無料

問合せ先 | 長野県伊那文化会館 0265-73-8822 長野県立美術館 026-232-0052

※諸般の事情により、会期等に変更が生じる場合があります。最新情報はお問い合わせをいただくか、画館ホームページをご覧ください。

主催 | 長野県、長野県立美術館、長野県伊那文化会館 共催 | 長野県教育委員会、伊那市、伊那市教育委員会

長野県伊那文化会館 美術展示ホール 〒396-0026 長野県伊那市西町5776

# 日本画家

# たち

池上秀畝《秋日和》1934年 部分  
京都大学人文科学研究所所蔵 (長野県立美術館寄託)







池上秀敏《秋日和》1934年  
京都大学人文科学研究所蔵  
(長野県立美術館寄託)

長野県立美術館では、1966(昭和41)年の開館以来、郷土にゆかりのある美術家たちの作品と、美しい信州の自然を描いた風景画を中心に収集、公開してきました。これらコレクションをより多くの方にご鑑賞いただくため、1979(昭和54)年から県内各地で「移動展」を開催しています。本館の新築オープンを迎えた2021(令和3)年からは、公募会場に加えて長野県伊那文化会館にて毎年開催することとなりました。

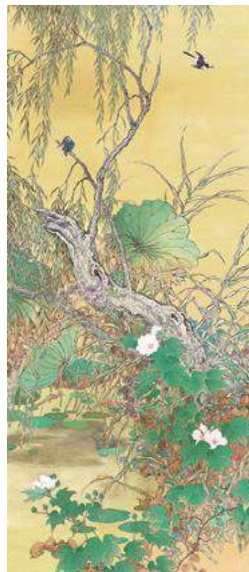
今年は、県立美術館(NAM)コレクション展第I期で開催した、生誕150年を迎えた池上秀敏(12点)と菱田春草(4点)を中心とした特集展示をご紹介します。

現在の伊那市と飯田市出身の二人は、1889(明治22)年、15歳の時に上京しました。池上秀敏は荒木寛敏の画塾に入門して修業したのに対し、菱田春草は上京の翌年、開校間もない東京美術学校に第三期生として入学しました。二人が進んだ道はそのまま近代日本画の旧派、新派という画壇の対立構造につながっていきます。中央画壇での二人の活躍もあり、長野県内からはその後多くの画家たちが輩出されました。今回は同い年の秀敏と春草の作品を中心に、長野県南部出身の画家たちが生み出した作品の数々をご紹介します。

# 池上秀敏 生誕150年 菱田春草



池上秀敏《四季花鳥》1918年 長野県立美術館所蔵



菱田春草《乳糜供養》1903年頃  
長野県立美術館所蔵

## ギャラリートーク 参加無料/要観覧券

担当学芸員が展示作品について解説を行います。

①10/19[土] ②11/2[土] 各14:00-14:30

●定員なし ●申し込み不要(上記日時に会場までお越し下さい)

※関連イベントについてのお問い合わせは、長野県立美術館(TEL.026-232-0052)まで。

## キッズガイドをプレゼント ※無くなり次第終了となります。

ご来場いただいた小学生以下のお子様には、楽しく展示室を回れるキッズガイドをプレゼントします。

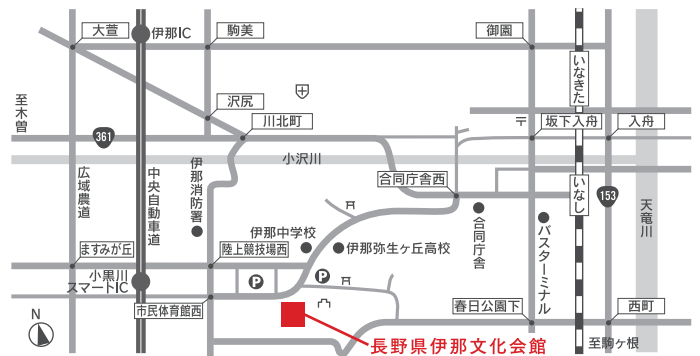
## 長野県伊那文化会館 <https://inabun.jp/>

〒396-0026 伊那市西町5776(春日公園内) TEL.0265-73-8822

■車をご利用の場合 中央自動車道「伊那IC」から約15分/「小黒川スマートIC」から約5分

■公共交通機関をご利用の場合 JR「伊那市駅」から徒歩約20分

乗り合いバス「市内西循環線」で「伊那文化会館」下車※土・日・祝祭日は運休



長野県立美術館企画展情報 | 京都 細見美術館の名品 琳派、若冲、ときめきの日本美術 10月5日[土]-11月7日[日]

※各展覧会の詳細および休館日は、各会場のホームページをご確認ください。